

キャリア教育の資質・能力を向上させるための重点単元計画

福山市立新市中央中学校

キャリア教育で育てる資質・能力

3観点	思考・判断・表現/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/主体的に学習に取り組む態度	知識・技能/思考・判断・表現
資質能力	チャレンジ&チェンジする力	自己理解力	自己表現力
中2・3	・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。	日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。	自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。
中1	活動をふり振り返り、改善策を考える。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。

学年	教科	単元名(全10時間)	教科の目標	キャリア教育で育てる資質・能力	関連企業等								
3	公民	現代社会の特色	<p><b>知</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの生活の中に、現代社会の特色としてみられる、少子高齢化、情報化、グローバル化、多文化社会がどのように関わっているかを理解している。</li> <li>各資料から、討論課題・パフォーマンス課題を解決するために必要な情報を的確に読み取ることができる。</li> </ul> <p><b>思</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代社会の特色としてみられる、少子高齢化や情報化、グローバル化、多文化社会などに関わる諸問題について、各資料から読み取った情報を、比較、分類、関連付けて、多面的・多角的に考察することができる。</li> <li>少子高齢化や情報化、グローバル化、多文化社会をテーマとした討論課題に対する自分の考えを、表現方法を工夫して分かりやすく意見を伝えることができる。</li> <li>現代社会の特色に関する討論課題に取り組む際、自分の考えだけでなく、他者の見方・考え方を取り入れながら、表現をすることができる。</li> </ul> <p><b>主</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元を貫くパフォーマンス課題の解決に向けて、現代社会の特色について考える『学び合い』学習や討論に粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>振り返りシート・キャリアパスポートを基に、単元を通じた自分の学習の姿勢を振り返り、よりよい取組方法を考えようとしている。</li> <li>各活動に取り組む中で他者と積極的に関わり、協働的に課題解決を図ろうとしている。</li> </ul>	<p>自己理解</p> <p>日々の学習活動を通して、自分の将来の夢や目標、生き方を考えることができる。</p> <p>★自己表現</p> <p>自分の思いや考えを、相手や場に応じて、分かりやすく説明することができる。</p> <p>チ</p> <p>・目標達成に向けて、より良い方法を考えて取り組むことができる。 ・達成状況を振り返り、改善策を考えることができる。</p>	英数学館 高校								
次	時	学習活動 ★出前授業/キャリア	・指導上の留意点	○教科の評価規準 ★キャリア教育で育成する資質・能力の評価規準	評価方法 例：行動観察 ワークシート ペーパーテスト など								
1	1	1	<p>単元を貫くパフォーマンス課題を提示し、現代社会の特色についての学習の見通しを持って、学習に取り組むうえで、どんなことに意識して取り組むかを考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「自己表現力」の向上に重点を充てるため、単元全体として、討論型の学習の際に目指す姿を、ルーブリックとして提示する。</li> <li>単元を貫くパフォーマンス課題についての考えを持つために、英数学館側が用意した「欧米の移民の現状」「日本の多文化社会の現状」の日本の動画を視聴させる。</li> <li>英数学館との交流がない学級については、「NHKforSchool」の「情報化」「少子高齢化」「情報化」に関わる3本の動画を見せる。</li> <li>本単元の学習目標を立てるために、振り返りシート、キャリアパスポートを活用して、自分の「学習に向かう姿勢」や、「キャリア教育の観点で【自己表現力】をどのように高めるか」を考えさせる。</li> </ul>	<p>○振り返りシート・キャリアパスポートを基に、単元を通じた、自分の「学習に向かう姿勢」や「自己表現力をどのように高めるか」について、目標を持つようとしている。(主)</p> <p>自己表現のルーブリック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A<sup>2</sup></th> <th>B<sup>2</sup></th> <th>C<sup>2</sup></th> <th>D<sup>2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎</td> <td>自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎</td> <td>自分の思いや考えを、資料から読み取れる情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎</td> <td>自分の思いや考えをもち、自分の思いや考えを説明していない。◎</td> </tr> </tbody> </table>	A <sup>2</sup>	B <sup>2</sup>	C <sup>2</sup>	D <sup>2</sup>	自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えを、資料から読み取れる情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えをもち、自分の思いや考えを説明していない。◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> <li>キャリアパスポート</li> </ul>
A <sup>2</sup>	B <sup>2</sup>	C <sup>2</sup>	D <sup>2</sup>										
自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えを、資料から読み取った情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えを、資料から読み取れる情報や生活体験を複数組み合わせたり、他者の見方・考え方を取り入れたらうで、説明できている。◎	自分の思いや考えをもち、自分の思いや考えを説明していない。◎										
<p>【パフォーマンス課題】変化の激しい現代において、日本を取り巻く状況は刻々と変化しており、「少子高齢化」「グローバル化」「情報化」といった現代の日本の特色がある中で、持続可能な社会と呼ばれる、現在の世代と将来の世代の幸福とを両立させることを目指す社会の実現が求められています。そんな中、近年話題となるのが、「日本はアメリカやオーストラリアのように、積極的な『移民』の受け入れをするべきかどうか」というテーマです。これから学んでいく、現代社会の特色やその特色に対する討論を踏まえたうえで、「討論課題 2030年…【日本への『移民』積極受け入れ】法案が出されたら。賛成？反対？」</p>													
2	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取る力を向上させるため、グラフの読み取りを多く設定し、「少子高齢化」「グローバル化」「情報化」「持続可能な社会」の特色を読み取らせる。</li> <li>『学び合い』の学習方法をとり、生徒たちが主体となって学習活動に取り組んだり、学習がなかなか進まない生徒が、友達に教えてもらいながら取り組んだりできるようにする。</li> </ul> <p>★「学校の5教科を英語で行う法案」「消費税20%法案」「学校教育のメタバース化」という架空の設定について討論を行わせ、「グローバル化」「少子高齢化」「情報化」の特色について、資料や他者の意見などから、多面的・多角的に考察し、自分の意見を持たせたり、表現させたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>討論の際は、「自己表現ルーブリック」を提示し、どこまでの姿を目標にするのかを考えさせる。</li> <li>根拠を明確にできるように、どの資料を根拠にしているか明確にできるようにワークシートを作成する。</li> <li>意見が出ない生徒は、同じ考えの生徒と同じグループにする際に、人の意見をしっかりとメモをさせるようにする。</li> <li>討論のレベルアップを図るために、前時の討論の良さや課題を視覚化し、自分たちの表現の様子を客観視し、改善を促せるようにする。</li> <li>資料の読み取りを、前時に宿題として提示し、討論の前に、1つ以上自分の考えを持てるようにする。</li> <li>反対側の意見をしっかりと聞けるようにするために、質問タイムを設ける。</li> <li>質問のレベルアップにつなげるため、相手の意見に対して、資料や生活体験を根拠に反論させるようにする。</li> <li>討論テーマによっては、意見が片方に偏る場合があるため、賛成と反対の立場を半分ずつに分けておいて、自分が置かれた立場で意見を伝える設定にする。</li> </ul>	<p>○現代社会の特色である「少子高齢化」「グローバル化」「情報化」「持続可能な社会」について、資料の読み取りを通じて、特色をまとめ、理解することができたか。(知)</p> <p>○★各討論テーマについて、自己表現ルーブリックに基づいて、根拠を基に、自分の考えや意見を表現することができたか。(思/自表)</p> <p>○よりよい討論へ向けて、自分で主体的にテーマについて考えたり、よりよい討論にしようとする取り組み方を改善しようとしていたりしているか。(主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>行動観察</li> <li>振り返りシート</li> <li>行動観察</li> </ul>								
3	3	2	<p>文化が私たちの生活や物の見方・考え方にどんな影響を与えているのかを、資料の読み取りを通じて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取る力を向上させるため、グラフの読み取りを多く設定し、「文化」の特色を読み取らせる。</li> <li>『学び合い』の学習方法をとり、生徒たちが主体となって学習活動に取り組んだり、学習がなかなか進まない生徒が、友達に教えてもらいながら取り組んだりできるようにする。</li> </ul> <p>★「多文化共生社会を意識した空き教室の活用案」という架空の設定について討論を行わせ、「多文化共生社会」の特色について、資料や他者の意見などから、多面的・多角的に考察し、自分の意見を持たせたり、表現させたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの協働的な学習を促すため、「自己表現ルーブリック」に加え、評価の観点として、「全員が協力した役割分担をしながら取り組んでいるか」という部分を加える。</li> <li>これまでの、「グローバル化」「情報化」「少子高齢化」で取り扱った資料も参考にしよう伝え、学習内容の関連性を持たせる。</li> </ul>	<p>○「文化」の特色について、資料の読み取りを通じて、特色をまとめ、理解することができたか。(知)</p> <p>○他者と協働的に取り組みながら、討論テーマについての発表資料準備・発表を行おうとしている。(主)</p> <p>○★討論テーマについて、発表方法の工夫を入れながら、「自己表現ルーブリック」に基づいて、根拠を基に、自分の考えた意見を表現することができたか。(思/自表)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>振り返りシート</li> <li>行動観察</li> <li>発表</li> </ul>								
4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン環境で他校とつながりながら討論する際は、事前連携の中で接続テストを行っておく。</li> <li>これまでの討論で活用したルーブリックや、討論の際の良さ・課題を再度提示し、よりよい討論を目指せるようにする。</li> <li>これまでの資料に加え、「移民」に関わる資料を提示し、討論テーマの内容についてより深く考えられるようにする。</li> </ul> <p>★これまで習った学習内容を踏まえ、英数学館高校の生徒など、多様な他者との関わりの中で、パフォーマンス課題の討論テーマについて、自分の意見を持たせたり、表現させたりさせる。</p>	<p>○★各討論テーマについて、自己表現ルーブリックに基づいて、根拠を基に、自分の考えや意見を表現することができたか。(思/自表)</p> <p>○よりよい討論へ向けて、自分で主体的にテーマについて考えたり、よりよい討論にしようとする取り組み方を改善しようとしているか。(主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>行動観察</li> <li>振り返りシート</li> <li>行動観察</li> </ul>								
5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時のまとめの討論の様子を振り返る時間を設け、「自己表現ルーブリック」に基づき、「自己表現力」が高まったかどうかを、キャリアパスポートを活用しながら考えられるようにする。</li> <li>振り返りシートの毎時間の評価や、自分の討論の姿勢を踏まえ、次の単元でどのような学習の取り組み方をするか考えさせる。</li> </ul>	<p>○単元全体を振り返り、自分自身の「学習に取り組む姿勢」と「自己表現力の向上へ向けた取組」の2点について、今後の改善方法を考えようとしている。(主)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシート</li> </ul>								

本単元での成果・子どもの姿(子どもの意見など)  
 ○事前に、討論に関わる資料を配布しておくことで、どの生徒も討論課題について1つは自分の意見を準備できていた。  
 ○討論の時間配分を設定・提示することで、メリハリのある討論を展開できた。  
 ○質問タイムの時間を設けることによって、より深く意見を吟味したり、相手の質問を予測して意見を構築する生徒がみられた。  
 ○最後に「討論を踏まえた賛否」を考え、全員ペアで発表させることで、「自己表現ルーブリック」を意識した活動にできた。  
 【自己表現力が高まったと感じた生徒】  
 私は移民の受け入れに賛成だったから、「英語力を補うために受け入れる」という意見を述べたけど、他の人は「～だから賛成。～することによって～になると思う」というところまでいっていたから、自分の意見は抽象的だと気付いた。

本単元での課題・改善案  
 ○最後の「討論を踏まえた賛否」で、意見が変わった生徒の意見を聞く活動を確保できるともっと意見が深まる。  
 ○課題設定によっては、片方に偏るテーマもあったので、事前アンケートなどに寄り、賛否が半数に分かれやすいテーマを設定する。  
 ○質問タイムで、意見が滞るグループがあったので、質疑を意識した意見の構築を今後の単元で意識させたい。

